

平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社CSSホールディングス
コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林田 喜一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務室長 (氏名) 岩見 元志

TEL 03-6661-7840

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	9,365	△1.2	225	△7.9	150	△30.8	130	△21.3
24年9月期第3四半期	9,482	8.1	244	241.0	217	159.5	166	655.9

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 198百万円 (8.1%) 24年9月期第3四半期 183百万円 (344.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	2,591.80	2,568.23
24年9月期第3四半期	3,293.17	3,263.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第3四半期	6,289	1,791	28.5	35,502.48
24年9月期	6,918	1,618	23.4	32,075.30

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 1,791百万円 24年9月期 1,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
25年9月期	—	0.00	—		
25年9月期(予想)				500.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,287	5.9	211	62.5	156	71.5	109	96.0	2,164.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年9月期3Q	52,856 株	24年9月期	52,856 株
25年9月期3Q	2,408 株	24年9月期	2,408 株
25年9月期3Q	50,448 株	24年9月期3Q	50,448 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、平成24年11月19日に公表したものから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、1月～3月期の実質GDP、前期比年率4.1%の高成長を受け、景気は底入れから回復軌道にあると言えます。

6月にはアベノミクスのいわゆる「第三の矢」となる「日本再興戦略－JAPAN is BACK」も公表され、日本経済の再生とデフレからの脱却へ向けての道筋が示されています。

参議員選挙の結果は、これまでの安倍政権の成果を裏付けるかのごとく、自民党の圧勝という結果となり、ねじれ国会の解消と共に、長期政権への足掛かりとなりました。

このような状況下、我が国の経済は、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」で追加された公共事業の執行も本格化する中で、①円安の効果などから輸出が増加を続けること、②円安に伴う企業収益の改善が設備投資を押し上げること、③2012年度の大型補正予算の執行に伴い公共投資の増勢が強まること、④夏の民間賞与が3年ぶりに前年を上回るなど消費者マインドの改善が引き続き個人消費を下支えすること、などから3四半期連続のプラス成長がみこまれております。

当社グループを取り巻く環境においては、ホテル業界、金融機関、大型商業施設等、各顧客先も徐々にではありますが回復基調が窺われることから、各事業会社とも、これら既存顧客からの収入の拡大に努めてまいりました。

また、費用については景気動向に連動した採用コストの上昇、円安に起因する仕入コストの上昇等、圧迫要因が生じておりますが、業務の効率化と、販売管理費等管理可能費の圧縮をはかることで引き続き収益の確保に傾注いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高9,365百万円（前年同期比1.2%減）、連結営業利益は225百万円（前年同期比7.9%減）、連結経常利益は150百万円（前年同期比30.8%減）、連結四半期純利益は130百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

① スチュワード管理事業 株式会社セントラルサービスシステム（ＣＳＳ）

当事業は、ホテル・レストランにおける食器洗浄を中心としたスチュワード管理を全国展開している当社グループの中核会社です。

当第3四半期連結累計期間においては、新規案件4件の受託に加え、景気回復基調の流れの中で、当事業の主要顧客であるホテルが業績回復傾向にあることから、入客増を反映して前年を上回る売上を確保することができました。また、費用においては、稼働状況に合わせた効率的な人員配置に努めることで人件費の圧縮を図りました。

この結果、売上高は3,916百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は144百万円（前年同期比62.7%増）となりました。

② 総合給食事業 株式会社センダン（ＳＤＮ）

当事業は、従業員食堂運営を中心にレストラン運営などフードサービスに係る総合給食事業を全国展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、1件の新規案件を受託したものの、受託契約終了案件の影響もあり、売上については伸び悩みの状況となりました。費用においては、円安の影響による使用食材の高騰を原価調整及びロス管理を徹底することで吸収しつつ、継続的に計画的な人員配置を行うことで、効率的な執行に努めました。

この結果、売上高は1,681百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は32百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

③ 映像・音響機器等販売施工事業 東洋メディアリンクス株式会社（ＴＭＬ）

当事業は、日本のBGMのパイオニア企業としての音楽関連事業と、セキュリティ・システム、映像・音響システムの販売・設計・施工事業を幅広い顧客層に展開している当社グループの中核会社です。

当第3四半期連結累計期間においては、金融機関を中心とした営業は好調に推移したものの、その他の一般法人を対象とした営業が苦戦したことに加え、電設部門縮小の影響から、売上については前年を下回ることとなりました。

収益については、金融機関からの受注案件の粗利益の向上が貢献したことと併せて、人件費及び管理可能費の効率的な執行と圧縮を行い、その確保に努めました。

この結果、売上高は2,357百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益は47百万円（前年同期比35.9%減）となりました。

④音響・放送機器等販売事業 音響特機株式会社（ＯＴＫ）

当事業は、大型スピーカーやアンプ等のプロフェッショナル向け音響機器の輸入及び販売事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、各種展示会への出展を行い、販売促進活動を推進してまいりました。また、商品知識向上へ向けた研修会の開催や海外メーカーのとの情報交換を通じ、代理店機能の更なる強化を図ってまいりました。納入先としては、官公庁・大型商業施設・放送局・テーマパーク等への実績を積み上げましたが、売上については前年を下回る結果となりました。費用については、円安が輸入品の仕入れ原価を押し上げる結果となっていることから、販売管理費を精査しながら、効率的な執行に努めました。

この結果、売上高は1,448百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は21百万円（前年同期比62.2%減）となりました。

⑤総務・人事・経理管理事業 株式会社ＣＳＳビジネスサポート（ＣＢＳ）

当事業は、総務・人事・経理業務をグループ各社より受託しております。

当第3四半期連結累計期間においては、外部企業複数社の受託を継続するとともに、グループ各社の管理業務の効率化を推進しました。

この結果、業績は計画どおり推移いたしました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、6,289百万円で、前連結会計年度に対し628百万円の減少となりました。その主因は、現金及び預金の減少444百万円、売上債権の減少231百万円によるものであります。

負債の部は、借入金の減少607百万円などにより801百万円減少しました。

純資産は、172百万円増加し、1,791百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

現時点における当期の連結業績予想は、平成24年11月19日に公表したものから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,793	1,867,050
受取手形及び売掛金	1,535,192	1,303,454
商品及び製品	247,717	258,917
仕掛品	87,715	94,225
原材料及び貯蔵品	14,857	18,890
未収還付法人税等	15,066	18,944
繰延税金資産	21,188	23,547
その他	70,558	230,909
貸倒引当金	△960	△644
流動資産合計	4,303,128	3,815,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	748,783	780,701
減価償却累計額	△137,595	△226,659
建物及び構築物（純額）	611,187	554,042
土地	953,028	953,028
その他	71,081	91,911
減価償却累計額	△46,413	△54,712
その他（純額）	24,668	37,199
有形固定資産合計	1,588,884	1,544,270
無形固定資産		
その他	63,416	78,130
無形固定資産合計	63,416	78,130
投資その他の資産		
投資有価証券	345,538	416,120
長期預金	290,000	190,000
その他	327,079	245,505
投資その他の資産合計	962,618	851,626
固定資産合計	2,614,919	2,474,026
資産合計	6,918,048	6,289,322

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	557,553	463,791
短期借入金	1,290,000	1,120,000
1年内償還予定の社債	150,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	673,662	575,727
未払金	553,220	537,281
未払法人税等	26,279	22,240
賞与引当金	121,880	133,330
資産除去債務	20,000	—
その他	149,206	158,028
流動負債合計	3,541,800	3,130,400
固定負債		
社債	120,000	30,000
長期借入金	1,384,708	1,045,258
繰延税金負債	20,303	59,146
退職給付引当金	185,877	169,929
長期未払金	22,934	22,544
資産除去債務	721	721
負ののれん	2,772	196
その他	20,794	40,095
固定負債合計	1,758,112	1,367,892
負債合計	5,299,913	4,498,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	277,699	277,699
利益剰余金	1,049,550	1,155,077
自己株式	△98,168	△98,168
株主資本合計	1,622,644	1,728,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,509	62,858
その他の包括利益累計額合計	△4,509	62,858
純資産合計	1,618,134	1,791,029
負債純資産合計	6,918,048	6,289,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	9,482,101	9,365,919
売上原価	7,863,309	7,767,461
売上総利益	1,618,791	1,598,458
販売費及び一般管理費	1,374,363	1,373,370
営業利益	244,428	225,088
営業外収益		
受取利息	1,326	781
受取配当金	5,893	6,465
持分法による投資利益	2,694	4,490
負ののれん償却額	3,567	2,575
その他	23,902	27,007
営業外収益合計	37,386	41,320
営業外費用		
支払利息	53,329	52,769
投資事業有限責任組合等出資金損失	757	1,117
支払手数料	—	45,820
その他	10,418	16,309
営業外費用合計	64,505	116,016
経常利益	217,309	150,391
特別利益		
固定資産売却益	—	10,881
投資有価証券売却益	—	13,886
特別利益合計	—	24,767
特別損失		
固定資産売却損	—	13
固定資産除却損	—	683
減損損失	5,242	—
投資有価証券評価損	633	—
適格退職年金制度終了損	14,877	—
特別損失合計	20,754	697
税金等調整前四半期純利益	196,555	174,462
法人税、住民税及び事業税	46,217	43,935
法人税等調整額	△15,796	△224
法人税等合計	30,421	43,711
少数株主損益調整前四半期純利益	166,133	130,750
四半期純利益	166,133	130,750

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	166,133	130,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,174	67,367
その他の包括利益合計	17,174	67,367
四半期包括利益	183,308	198,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,308	198,118

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注) 3
	スチュ ワード管理 事業	総合給食 事業	音響・放 送機器等 販売事業	映像・音 響機器等 販売施工 事業	計				
売上高									
(1)外部顧 客に対する 売上高	3,709,499	1,661,639	1,498,354	2,603,730	9,473,224	8,876	9,482,101	—	9,482,101
(2)セグメ ント間の 内部売上 高又は振 替高	—	22	35,246	2,511	37,781	165,004	202,785	△202,785	—
計	3,709,499	1,661,662	1,533,601	2,606,242	9,511,006	173,880	9,684,886	△202,785	9,482,101
セグメン ト利益	88,886	35,214	55,599	74,406	254,106	6,934	261,041	△16,612	244,428

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり総務・人事・経理管理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△16,612千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注) 3
	スチュー ード管理 事業	総合給食 事業	音響・放 送機器等 販売事業	映像・音 響機器等 販売施工 事業	計				
売上高									
(1)外部顧 客に対す る売上高	3,915,424	1,680,697	1,404,205	2,353,992	9,354,319	11,600	9,365,919	—	9,365,919
(2)セグメ ント間の 内部売上 高又は振 替高	700	364	44,417	3,179	48,662	168,753	217,415	△217,415	—
計	3,916,124	1,681,061	1,448,623	2,357,171	9,402,981	180,353	9,583,335	△217,415	9,365,919
セグメン ト利益	144,623	32,282	21,024	47,705	245,636	19,481	265,118	△40,029	225,088

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり総務・人事・経理管理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△40,029千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。